取得経緯の自己申告書

下の記述欄に、１～３の内容を記述してください。

１．象牙を所持している者の氏名（法人にあってはその名称)、象牙の種類と形態、数量
（例：「○○太郎が所有する象牙１本について」）

２．いつ、誰がどのように取得したのか。
（具体的に記入。何年前といった表現は不可）
（例：「昭和○年○月に私が海外の○○で購入し、昭和○年○月に国内へ持込み」
「昭和○年○月に、父である○○△男が購入。父が○年に亡くなり私が相続で取得」）

３．その他の状況
（象牙を取得したときの関係書類（領収書や通関書類など）があるかないか。取得に至る経緯。取得した時の詳細など。）

＜記述欄＞

・本書類の記述内容は事実であること。
・「象牙」は「本物」であること。
・取得する登録票は鑑定書ではないことを承知していること。
以上の３点について相違ないことを誓約します。

（一財）自然環境研究センター　　理事長　殿

年　　月　　日

住　所

氏　名

※申請者が法人である場合 には、「住所」を「主たる事務所の所在地」と、「氏名」を「名称及び代表者の氏名」と読み替えて記載してください。
※虚偽の内容での申請など、偽りその他不正の手段により登録を受けた場合、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律第 57 条の２に基づき、登録を受けた者が５年以下の懲役又は 500 万円以下の罰金、若しくはこれらの併科を科せられることがあります。また、法人の場合は、同法第 65 条に基づき、１億円以下の罰金を科せられることがあります。